

委員会レポート  
**建設産業**

平成十七年五月に建設産業委員会が愛知県大府市「げんきの郷」を視察しました。  
JAあいち知多は、知多半島一円のJAとして、平成十二年四月、三つのJA（知多・東知多・西知多）の合併により誕生しました。  
知多半島は、伊勢湾と三河湾に囲まれ、東西四〇〜一四キロメートル、面積は三八三平方キロメートル、五市五町から成っています。  
株式会社げんきの郷は、JAあいち知多一〇〇％出資の完全民間企業です。食と農、そして天然温泉が充実しており、加工施設「できたて館」は女性ばかりの組織で有限会



「げんきの郷」を訪れた建設産業委員会

**地元農家直売**  
とれたての**食材**を

社を立ち上げ、産地原料での製造にこだわっています。  
地産地消が最も重要と考えてあり、ファーマーズマーケットはなまる市は、生産者の名前入りの野菜や草花、卵、乳製品など主要二十五品目を常備しています。  
開業から五年、現在二億円の黒字だそうです。  
げんきの郷への出荷が一〇〇％の農家が二十軒以上にもなっており、若い世代が農業に戻りつつある状況です。  
一般消費者への憩いの提供と、地域産業の育成の双方を着実に進めています。



道路改良工事の説明を受ける三合同委員会

**九州自動車道上り線 出入口専用道路整備**

平成十七年十一月二十八日、臨時議会が開かれ、一の浦、橋本線道路改良工事が提案されました。現在、須恵パーキングエリアスマートインターチェンジ上り線は、下りることしかできないため、上りの利用ができるように、今回出入口専用道路として整備するもので、平成十八年二月十五日の

供用開始を目前に計画されるものです。  
主な工種については、擁壁工、排水工、塗装工、交通安全施設等が予定されています。  
事業費は、四千八百万円、財源内訳は、国庫補助金二千二百万円、一般財源二千六百万円です。  
全員賛成で可決されました。

委員会レポート  
**総務文教**

**自然と地域産業を活かした町づくり**

平成十七年十月に総務文教委員会が北海道余市（よいち）町へ視察に行きました。  
余市町は、北海道の西部、積丹半島の基部に位置し、札幌から五三・七キロメートルの距離にあり、面積は一四〇・六〇平方キロメートル、人口は二万二千八百六十七人です。  
主な産業は、かつてはニシン漁で栄えましたが現在は海老・いか・かれい漁が行われ、また果樹の栽培が盛んでリンゴ、ブドウ、梨などの生産は全道一を誇っています。  
町の特産である果樹の研究開発や生産技術・効率の向上を図り、付加価値の高い商品作りに努め、また施設栽培や都市近郊という地の利を活かした観光農園・果樹オーナー

制などにより、農業を活かした町の活性化を推進しています。  
また、クリーン農産物表示制度を採用し、消費者に対し栽培方法などの情報提供を行い、消費者ニーズにあった農業経営を展開していました。

**議会改革と活性化への取り組み**

議会改革・活性化調査特別委員会を設置し、議員定数・議員報酬、開かれた議会、議会の調査機能と議員研修の充実についてを重点項目として取り組んであります。  
議員定数は、平成三年に削減を行い現在は二十二名体制です。  
常任委員会については、以前四委員会を設置していたが現在は三委員会となっています。  
報酬は、平成十四年度に減額されており、期末手当については、本年度より〇・四ヶ月分の減額を行うそうです。  
議会の調査機能として、予算・決算については特別委員会を設置し、審査を行っています。  
議員研修は、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、その他別組織による議員会による視察研修と、かなり充実しているものでした。



余市町を訪れた総務文教委員会

**聴講生制度**

平成十七年十一月に須恵東中学校へ聴講生制度の視察に行きました。  
「地域に開かれた学校」の姿を求め、学校が地域をつくり、地域が学校をつくるという関係を醸成する。  
聴講生の生涯学習への支援と、生徒の思いやりや学習意欲の向上をめざすことをねらいとする。  
教師としては、授業に適度な緊張感を持ち、授業改善への意識改革の機会と捉える。  
の基本方針で、聴講生は最後の席で受講されていました。  
生徒・聴講生・教師と三つの立場での相乗効果が、良い方向に現れていました。  
しかし、施行してまだ日が浅く、これから短所等見えてくるかもしれませんが、先を想定し慎重に取り組めば長く続くものと思われ、他の学校での実施を期待しました。